

JR九州 民営化後 最大規模32駅 駅無人化計画

地元協議も周知も不十分 国は指導せよ 真島省三衆院議員が追及



和白駅を視察する（右から）真島衆院議員、綿貫英彦市議、立川ゆみ県議予定候補 11月31日

●真島議員 協議も周知徹底

真島議員は、無人化される駅名の公表は一部を除き実施1週間前で、2月になっても福岡県にさえ知らせなかったことを指摘。地元地域自治会への説明は「たった5分」、配布しているチラシには「駅が無人になる」とは一言も書いていないなどの実態を示し、JR九州は十分な説明も行っていないと批判しました。さらに、首長が「利便性が低下するのははっきりしている」と無人化反対を表明していることを紹介し、JR九州を適切に指導するよう求めました。



日本共産党の真島省三議員は10日の衆院予算委員会分科会で、JR九州の駅無人化問題を取り上げ、「安全、バリアフリー、利便性、治安の面で重大な懸念がある」と指摘。「無人化をいったんやめ、自治体や利用者としてJR側との協議を実行するよう促すのが国の責務だ」とただしました。質問の要旨を紹介します。

駅無人化で利便性・安全性がさらに後退 むしる駅員増員、ワンマン運転の見直しを

真島氏は、無人化される駅の調査結果などを詳しく紹介。①ワンマン運転で、危険な状態が放置された駅まで対象になっており、安全性が損なわれる②障害者など介助が必要な人が自由に駅を利用できない③定期券や特急券の購入もできなくなるなど、利便性が後退する④人の目が届かなくなり、治安が悪化する——ことなどを指摘しました。

●真島議員（別掲の実態を示して）こんな危険な状態を放置したまま無人化などあり得ない。こうした駅では、緊急に複数の駅員を配置する、あるいはワンマン運転を見直すことこそ緊急に求められている。

真島議員が示した駅の実態

【1日あたり4484人が乗降する香椎線宇美駅】

駅周辺の線路と道路の間にフェンスがない。駅員さんも「無人化で安全が心配だ」といっている。

【日田彦山線添田駅】

駅舎とホームが約100メートル離れており、踏切を渡らなければいけない。ホームに上がるスロープは急斜面で、車いすでは大変。

【筑豊本線の無人化対象駅】

「明かりも人通りも少なく、駅員さんがいなくなると夜は怖い」「駅周辺には夜中にたむろしている者もいる。駅員がいるかないかで、ずいぶん違う」などの声。

真島議員は、12駅を無人化する香椎線は2万8450人の乗降客があるにもかかわらず、駅にインターホンを設置し、オペレーターが遠隔で対応する。必要に応じてサポートスタッフが数分で駆けつける。としていることを指摘。

わずか3人のスタッフと、オペレーターで対応できるのかなど、多くの懸念があると批判しました。

●真島議員 駅の無人化は明らかに利便性を後退させるのではな

○藤田鉄道局長 無人化にあたり、できる限りサービスの水準を確保しながら進めることが大事。

●真島議員（今の答弁は）サービスが後退することを認めている。利用者が多い時間帯を新たに無人化してサービスが向上されるとは思えない。



無人化の対象駅一覧

【鹿児島本線】田代、肥前旭、植木 【日豊本線】熊崎、上臼杵、錦江、重富 【長崎本線】肥前麓、肥前古賀
【佐世保線】大町 【筑肥線】和多田 【香椎線】西戸崎、奈多、和白、香椎神宮、舞松原、土井、伊賀、酒殿、須恵、須恵中央、新原、宇美 【筑豊本線】藤ノ木、東水巻、筑前植木、鯉田、浦田、天道 【日田彦山線】石原町、添田 【指宿枕崎線】二月田



質問動画はコチラ



協議も周知もなし。駅無人化はやめるべき（真島議員） 利用者が困るようではいけない。よく調べて整理したい。（太田大臣）

もまともにしないうで無人化を進めるJR九州に、適切な指導をすべきだ。

○太田国交大臣 安全ということが大事。利用する方が困ることがないよう、よく調べて整理したい。

●真島議員 篠栗線・筑豊本線整備連絡協議会は『輸送需要が低いという理由のみで安易に路線の無人化を絶対に進めてはならない』と要望している。こうした地方の声をふまえ、JR、市町村、住民、利用者が真摯に協議すべきだとの認識はあるか。

○太田大臣 地元との連携、説明は当然必要だと思